

様式1号  
(総括票)

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	日本発条株式会社							
代表者名	氏名	茅本 隆司	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	神奈川県横浜市金沢区福浦3-10							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	24 金属製品製造業						
主たる事業の概要	自動車用懸架ばね、バルブばね製造、自動車用シート製造							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	15456	kl	その他ガス排出量合計	11	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	25	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

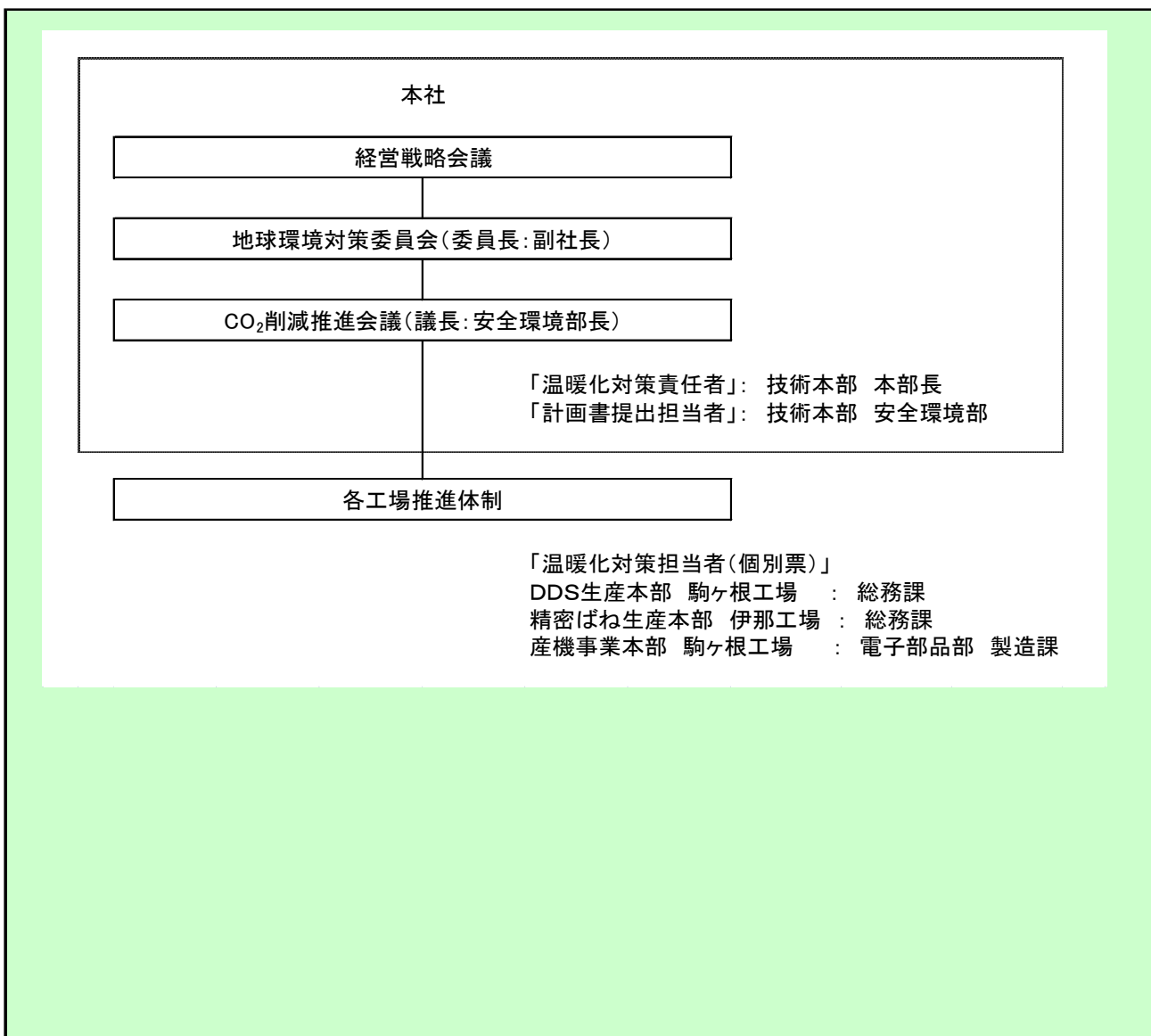
<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	日本発条株式会社 本社 技術本部安全環境部 平日9:00～16:00 Tel 045-786-7520
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

全社目標は2012年度基準 原単位年率1%削減。

#### 5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	31,669	t-CO <sub>2</sub>	内製売上高	412	単位	億円	
25年度	調整後排出量	23,799	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	76.87	t-CO <sub>2</sub> /	億円	
目標年度	目標排出量	30,718	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	74.56	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	社内目標原単位年率1%削減を目標とする。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	30,414	t-CO <sub>2</sub>	内製売上高	437	単位	億円	
26年度	調整後排出量	30,202	t-CO <sub>2</sub>	原単位	69.55	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
26年度	削減率	3.96	%	削減率	9.52	%		
排出量等の増減理由	受注減及び省エネ施策によりCO2排出量は基準年度に対し約4%削減した。特に生産集約によるクリーンルーム維持に関わる負荷低減が大きく寄与したと考える。							
第二年度	排出量	30,627	t-CO <sub>2</sub>	内製売上高	425	単位	億円	
27年度	調整後排出量	30,465	t-CO <sub>2</sub>	原単位	72.06	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
27年度	削減率	3.29	%	削減率	6.25	%		
排出量等の増減理由	原単位が増加した工場では、エネルギー消費の大きい製品割合が増加したこと、内製売上上の減少と新規建屋稼働に伴うエネルギー使用量の増加があった。原単位が減少した工場では、省エネ改善と生産集約によりエネルギー使用量の削減となった。							
第三年度	排出量	32,768	t-CO <sub>2</sub>	内製売上高	441.60	単位	億円	
28年度	調整後排出量	32,540	t-CO <sub>2</sub>	原単位	74.20	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
28年度	削減率	(3.48)	%	削減率	3.47	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	ボイラーの更新、コンプレッサーのインバーター化、照明のLED化、生産性向上の対策により全体として原単位は目標を達成した。但し、工場によっては主力製品に求められる機能の追加により製造工程が多くなったため原単位が増加している。また、新規建屋の本格稼働によりCO2排出量が増加している工場もある。							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	8	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	32,932	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	360799 コンプレッサーを省エネタイプへ更新及び台数削減	H26	249	H26	155
2	エネ起	330299：高効率暖房機導入	H26	50	H26～ H27	76
3	エネ起	380751：照明のLED化	H26～28	35	H26	130
4	エネ起	330299 洗浄機断熱による空調負荷低減	H26～27	21	H26	21
5	エネ起	330299 エアコンの更新	H26～28	13	H26～ H28	9.9
6	エネ起	360705 空気漏れ対応	H26	0.8		0
7	エネ起	380752 その他建屋内照明機器のLED更新			H26	7
8	エネ起	329999：電気炉の少機化による老朽電気炉代替品と交換(93.6KW⇒70KW)			H27	18
9	エネ起	380752 第3工場クリーンルーム内照明機器のLED更新			H26～ H27	132
10	エネ起	320205 夏期のボイラー停止			H27～ H28	48

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電装置	kw	20	20	20	20	20

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	7870		212	162	228
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	2	27,567	2	26,236	2	26,130	2	27,226
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,236	1	3,269	1	3,876	1	4,859
1,500k1未満	1	866	1	909	1	621	1	683
合計	4	31,669	4	30,414	4	30,627	4	32,768

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>	5.8	8	8	8
N <sub>2</sub> O	2	3	3	3
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
合計	7.8	11	11	11

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	5	6	3	2
合計	5	6	3	2
自動車総数	27	27	26	25
次世代車導入割合	18.5	22.2	11.5	8

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特に無し
その他	特に無し

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特に無し。マイカー通勤率：98.1%
公共交通機関の利用促進	特に無し。
来客者の交通対策	特に無し、或いは非該当(商業施設など来客数の多い事業所ではないため)
物流の合理化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の輸送手段の効率化、洗浄装置改善と廃棄物低減、廃棄物分別とリサイクル率向上(伊那工場)</li> <li>・輸出梱包パレットの積載方法改善による空スペース削減、廃棄物の有価引き取り(DDS駒ヶ根工場)</li> <li>・製品により鉄道輸送実施、ウレタン廃棄物のリユース(産機駒ヶ根工場)</li> </ul>

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	IS014001 伊那工場	H11年(LRQA)、H17年(JQA)
2	IS014001 DDS駒ヶ根工場	H12年(LRQA)
3	IS014001 産機駒ヶ根第一工場	H10年(TUV)

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全社省エネ①冷房28℃②暖房20℃管理。クールビズ導入。</li> <li>2. 生産性向上によるエネルギー使用量削減。</li> <li>3. 社員の家族へ省エネ対策を書面で展開。</li> </ol>
第一年度実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 長期休暇時の省エネ対応</li> <li>2. クリーンルームの空調設定見直し</li> <li>3. 新規設備及び既存未設置設備への電力モニター設置による不明電力量の把握</li> <li>4. 空調機停止、照明消灯時間の徹底</li> </ol>
第二年度実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. CO<sub>2</sub>削減推進会議(基準年以前より開始)を年2回開催し、省エネ情報の共有化及び施策実施。</li> <li>2. 工場構内の緑化活動、地域の美化活動を推進。</li> </ol>
第三年度実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. CO<sub>2</sub>削減推進会議(基準年以前より開始)を年2回開催し、省エネ情報の共有化及び施策実施(伊那工場)</li> <li>2. 長期休暇時の省エネ対応(DDS駒ヶ根工場)</li> <li>3. 断熱塗料による外壁塗装、照明LED化、電力モニター設置による不明電力量の把握、コンプレッサー更新(産機駒ヶ根工場)</li> </ol>

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取り組み	①クリーンルーム空調ブースターファンのインバータ化(平成21年度：2系統、平成22年度：7系統、平成23年度：設定見直し)(DDS駒ヶ根工場)、②H21年：ホニガコンプレッサーの台数制御化(伊那工場)、③H24年：クリーンルーム空調機高効率化(伊那工場)、④シート1号機、他品種とのミックス生産方式へ変更(産機駒ヶ根工場)、⑤事務所空調機、灯油からエアコンへ変更(産機駒ヶ根工場)	924
その他		